

長良川遊水地ご説明資料

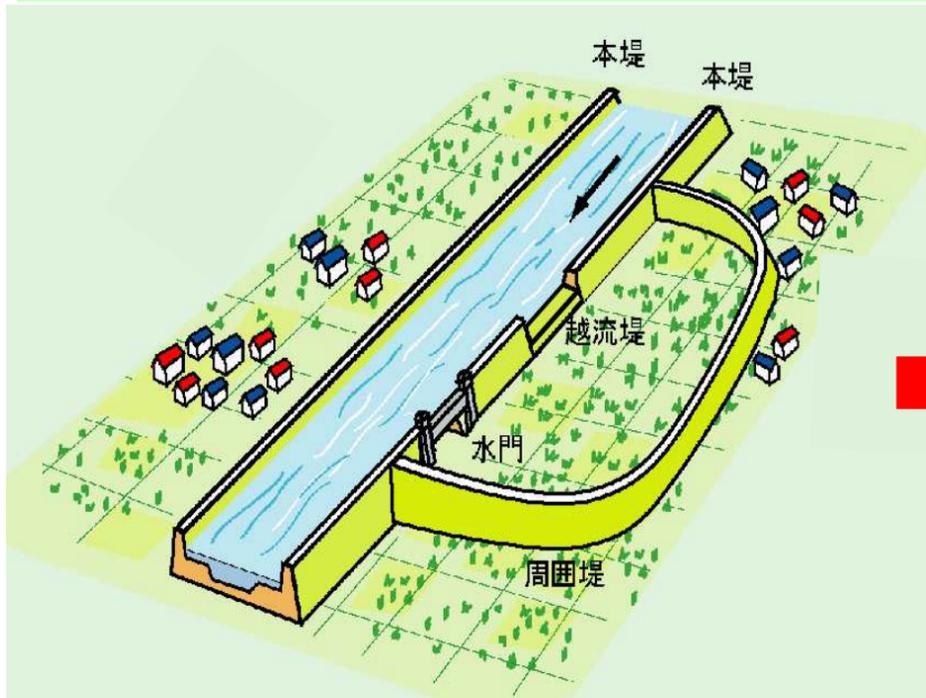
令和2年10月

国土交通省 中部地方整備局
木曽川上流河川事務所

- 大雨などで川の水が増えたときに、その一部を貯めて下流に流れる水の量を減らすためのもの
- 水がない平常時には、公園や水田などの利活用が可能

①平常時

- 川の水位が越流堤の高さを超えるまで、遊水地に洪水は入ってこない
- 遊水地内の土地では、公園や水田等としての利活用が可能



②洪水時

- 川の水位が上昇し、越流堤の高さを超えると、遊水地に洪水が入ってくる
- 遊水地には一時的に水が溜まる



③洪水後

- 川の水位が低下し、遊水地の土地の高さよりも低くなると、排水門を開けて、貯めた水を川に戻す
- 再び、遊水地内の土地では、公園や水田等としての利活用が可能



長良川遊水地 河川整備計画への位置づけについて

○平成16年10月洪水では、直轄管理区間上流(岐阜県管理区間)で広範囲の浸水被害発生。
 ○平成16年10月洪水の浸水面積、堤防開口部の有無、土地の利用状況を踏まえ候補箇所を抽出。

平成16年10月洪水（指定区間）

被害状況(直轄管理区間上流端～板取川合流点)

浸水面積:461ha
 被災家屋:床上浸水218戸
 床下浸水142戸
 半壊家屋 8戸



浸水区域



遊水地候補箇所図

※引用)・岐阜県ホームページ(写真、被害状況)
 ・長良川 床上浸水対策特別緊急事業パンフレット(岐阜県)(被害状況)
 ・平成16年台風23号記録誌～その被害と復旧の記録～(岐阜県)

平成30年度までの木曽川水系流域委員会において、示した6箇所の長良川遊水地候補地から、戦後最大流量を記録した平成16年10月洪水と同規模の洪水に対応するための整備箇所として抽出した候補地について、河川に関し学識経験を有する委員の方々に意見をお聴きしました。

- 日 時 : 令和元年5月20日(月) 10:30~11:30
- 場 所 : シティホテル美濃加茂3F若竹の間
- 学識者 : 辻本哲郎(名古屋大学名誉教授)、松尾直規(中部大学工学部長・教授)
西條好迪((一財)自然学総合研究所理事長)、関口秀夫(三重大学名誉教授)
平野久克(NPO法人木曽三川環境保全機構顧問)、藤田裕一郎(岐阜大学名誉教授)
溝田大助((公財)愛知・豊川用水振興協会理事長) 計7名
- 内 容 : ○長良川遊水地の候補地選定について 等



委員会風景

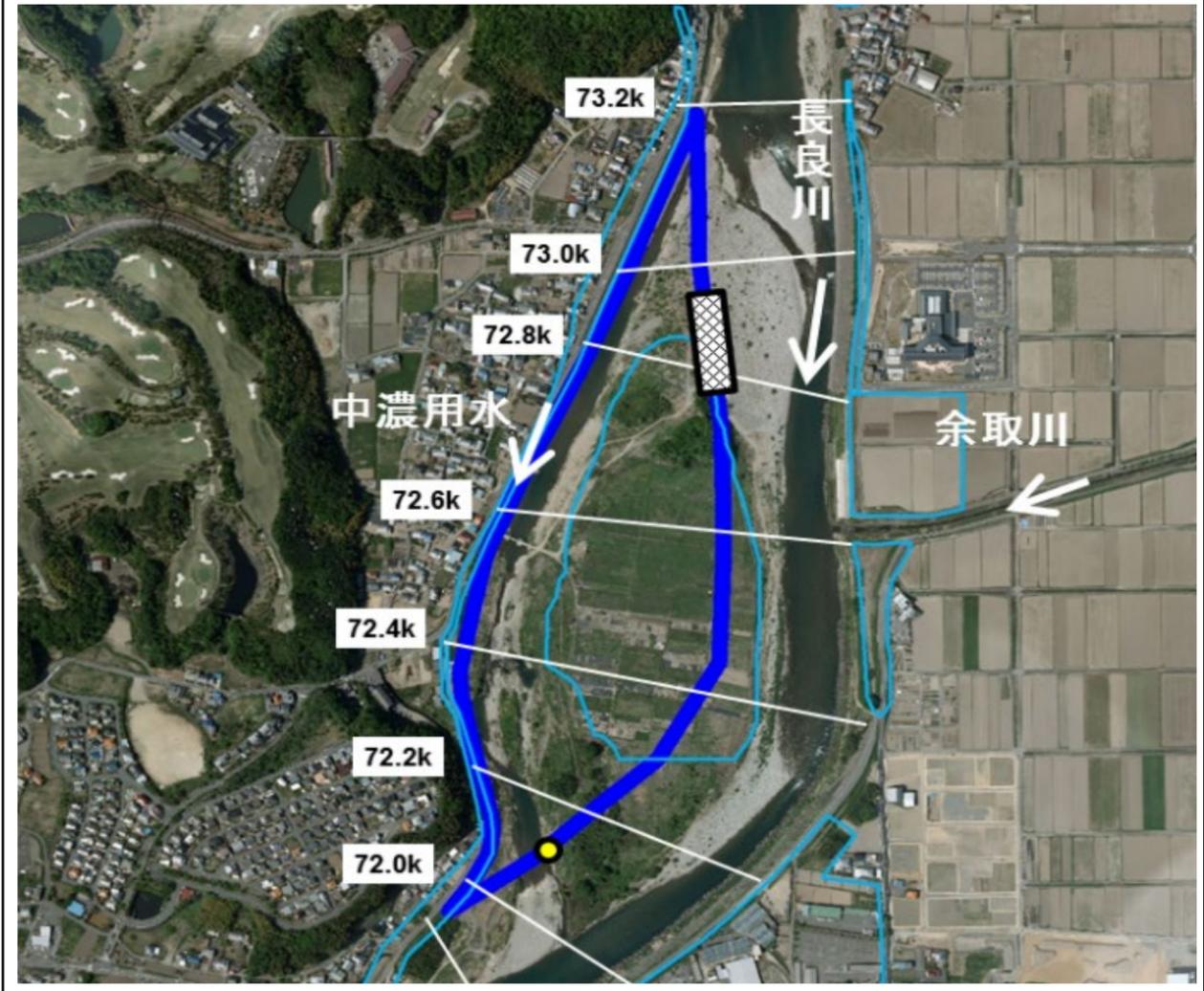


委員長挨拶

審議結果

長良川遊水地の候補地として、**美濃市横越地区・関市池尻地区**の2カ所が選定。

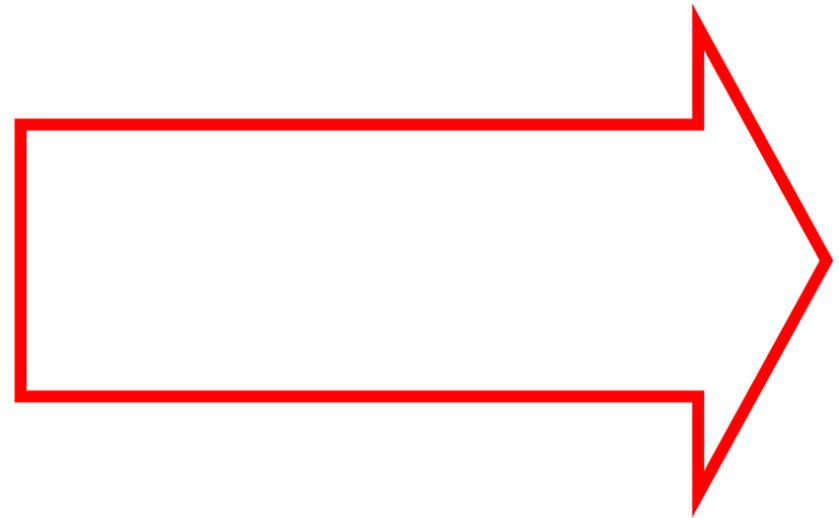
美濃市横越地区



関市池尻地区



凡例	越流堤		排水樋門	
	開口部			



候補地選定された
2か所について
河川整備計画に反映

長良川遊水地に関する整備計画変更箇所

第3章 河川の整備の実施に関する事項

第1節 河川工事の目的、種類および施工の場所並びに当該河川工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要

第1項 洪水、津波、高潮等による災害の発生防止または軽減に関する事項

1 水位低下

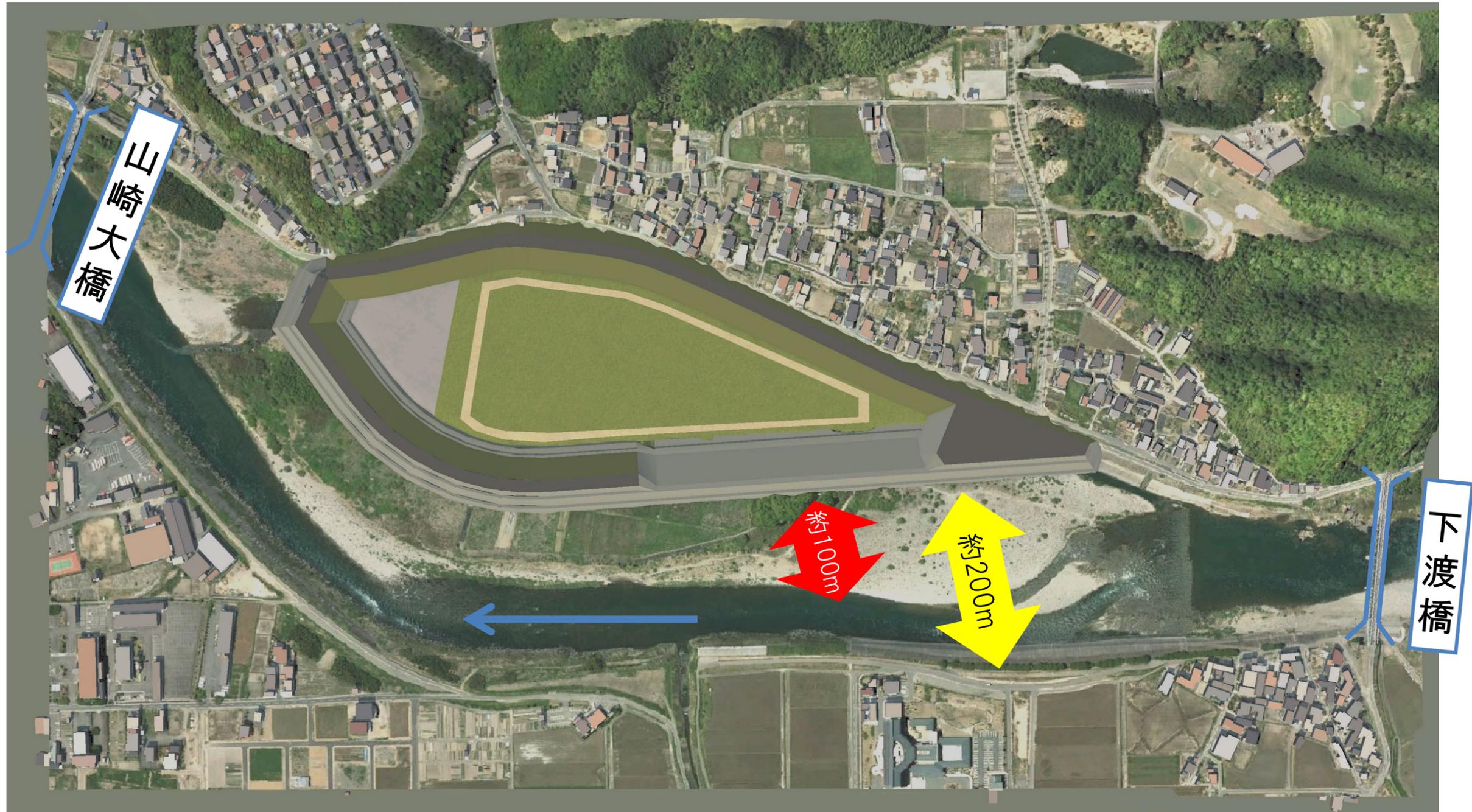
河川整備計画(これまで)	河川整備計画(R1変更)																			
<p>(3) 洪水調節機能の強化</p> <p>② 遊水地等の整備</p> <p>長良川において、戦後最大規模の洪水〔平成16年(2004)10月洪水〕を安全に流下させるため、板取川合流点から下流の区間において遊水機能を活かした洪水調節として基準地点忠節において戦後最大規模の洪水に対して約200m³/sの流量低減を見込む遊水地等を整備する。</p> <p>なお、整備にあたっては、当該地域の開発状況と遊水地計画を総合的に検討し、地域の振興に資するよう開発プロジェクトと協調を図るなど岐阜県をはじめとする関係機関と十分な調整・連携を図るとともに、既往の洪水に対する当該地域の浸水対策を併せて検討する。</p> <p>遊水地等の位置・諸元等の詳細については今後検討し決定していく。</p>	<p>(3) 洪水調節機能の強化</p> <p>② 遊水地等の整備</p> <p>長良川において、戦後最大規模の洪水〔平成16年(2004)10月洪水〕を安全に流下させるため、板取川合流点から下流の区間において遊水機能を活かした洪水調節として基準地点忠節において戦後最大規模の洪水に対して約200m³/sの流量低減を見込む遊水地等を整備し、併せて当該地域において必要となる河川整備を行う。する。</p> <p>なお、整備にあたっては、動植物の生息・生育・繁殖環境等の環境への影響の低減に努め、地域住民の意向を踏まえつつ、当該地域の開発状況と遊水地計画を総合的に検討し、地域の振興に資するよう開発プロジェクトと協調を図るなど岐阜県をはじめとする関係機関と十分な調整・連携を図るとともに、既往の洪水に対する当該地域の浸水被害軽減や平常時の土地利用のあり方に配慮対策を併せて検討する。</p> <p>遊水地等の位置・諸元等の詳細については今後検討し決定していく。</p> <p style="text-align: center;">表-3.1.9 遊水地の概要</p> <table border="1" data-bbox="1539 1239 2804 1440"> <thead> <tr> <th rowspan="2">河川名</th> <th rowspan="2">右岸</th> <th rowspan="2">施行の場所</th> <th colspan="3">機能の概要等</th> </tr> <tr> <th>湛水面積 (ha)</th> <th>容量(万m³)</th> <th>目的</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">長良川</td> <td>右岸</td> <td>岐阜県美濃市横越</td> <td>約20</td> <td>約144</td> <td rowspan="2">洪水調節</td> </tr> <tr> <td>右岸</td> <td>岐阜県関市池尻</td> <td>約20</td> <td>約55</td> </tr> </tbody> </table> <p>※施設の規模は、現時点における遊水地の概要を示したものであり、今後の検討により、必要に応じて変更することがある。</p> <p>※当該地域は、事業着手に合わせて、大臣管理区間とする予定である。</p>	河川名	右岸	施行の場所	機能の概要等			湛水面積 (ha)	容量(万m ³)	目的	長良川	右岸	岐阜県美濃市横越	約20	約144	洪水調節	右岸	岐阜県関市池尻	約20	約55
河川名	右岸				施行の場所	機能の概要等														
		湛水面積 (ha)	容量(万m ³)	目的																
長良川	右岸	岐阜県美濃市横越	約20	約144	洪水調節															
	右岸	岐阜県関市池尻	約20	約55																

長良川遊水地 横越地区について



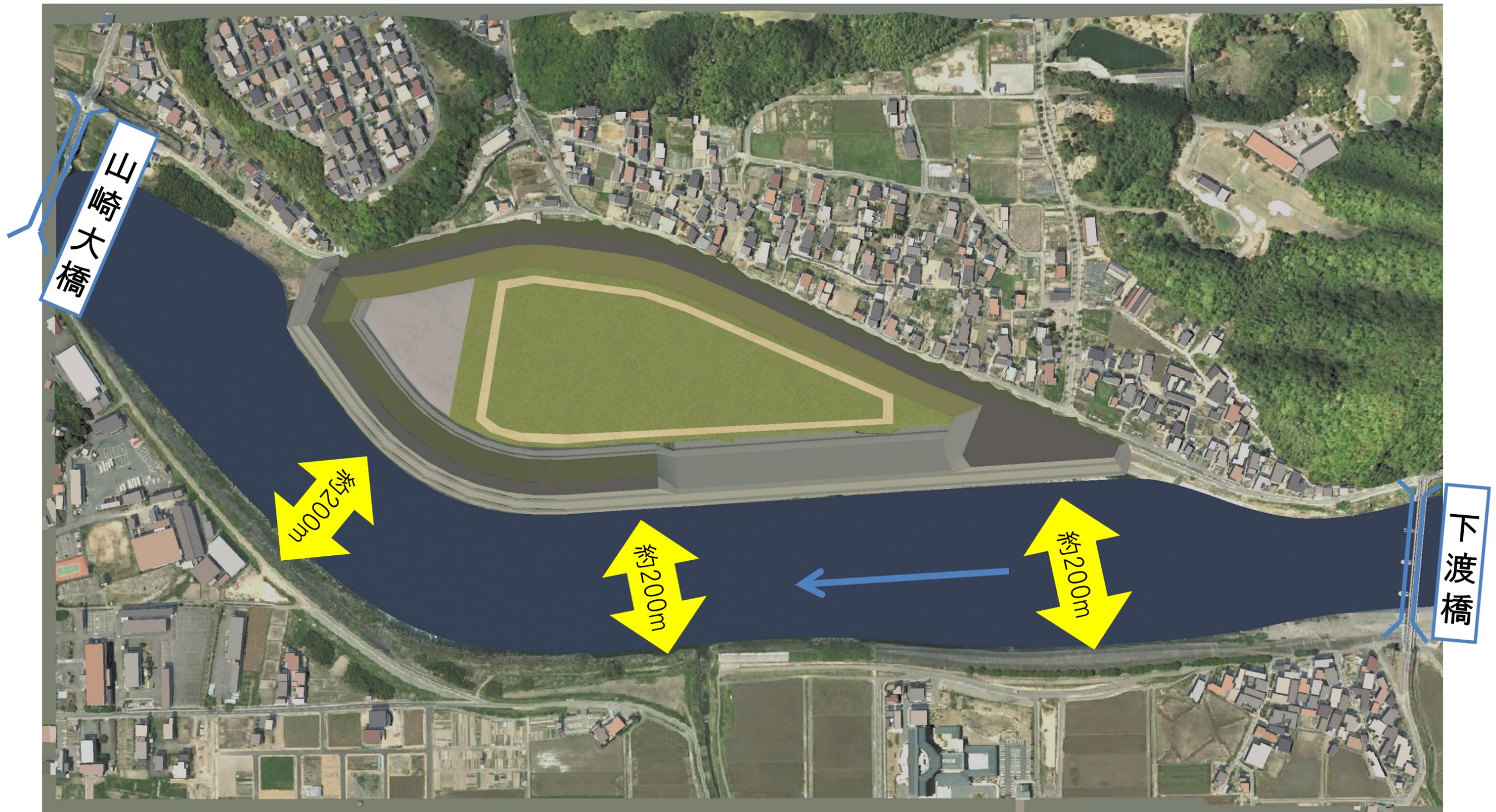
平成28年6月撮影

- ・現況は中州が川の流れを阻害しているため、約200mの川幅を連続して確保し、川の流れをスムーズにする。
- ・現況の河道も、約100mの幅で掘削を行い、水を流すために必要な断面を確保する。



※令和2年度10月時点での検討状況を示すもので、今後変更の可能性があります。

- ・遊水地建設により、目標としている洪水(平成16年10月洪水)では、遊水地より上流で10cm程度、遊水地直下でも12cm程度の水位低下効果を見込んでいる。
- ・さらに越流堤を越える分は、遊水地の中に流入し、遊水地が効果を発揮する。

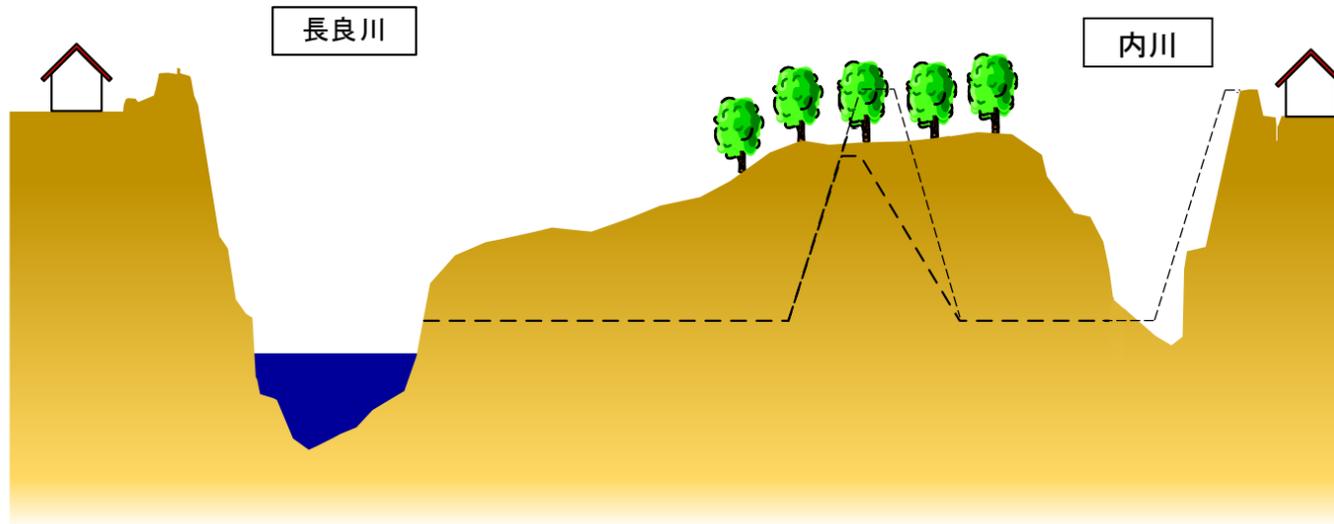


※令和2年度10月時点での検討状況を示すもので、今後変更の可能性があります。

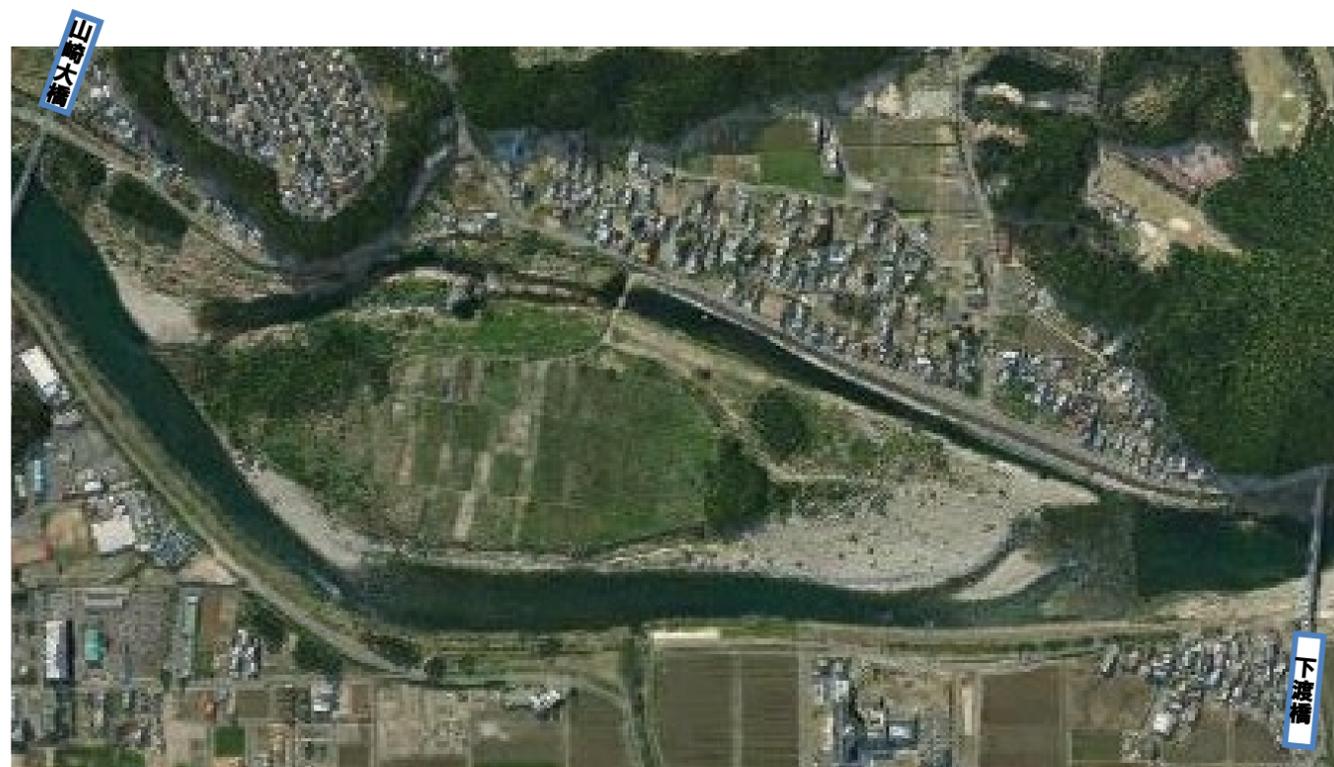
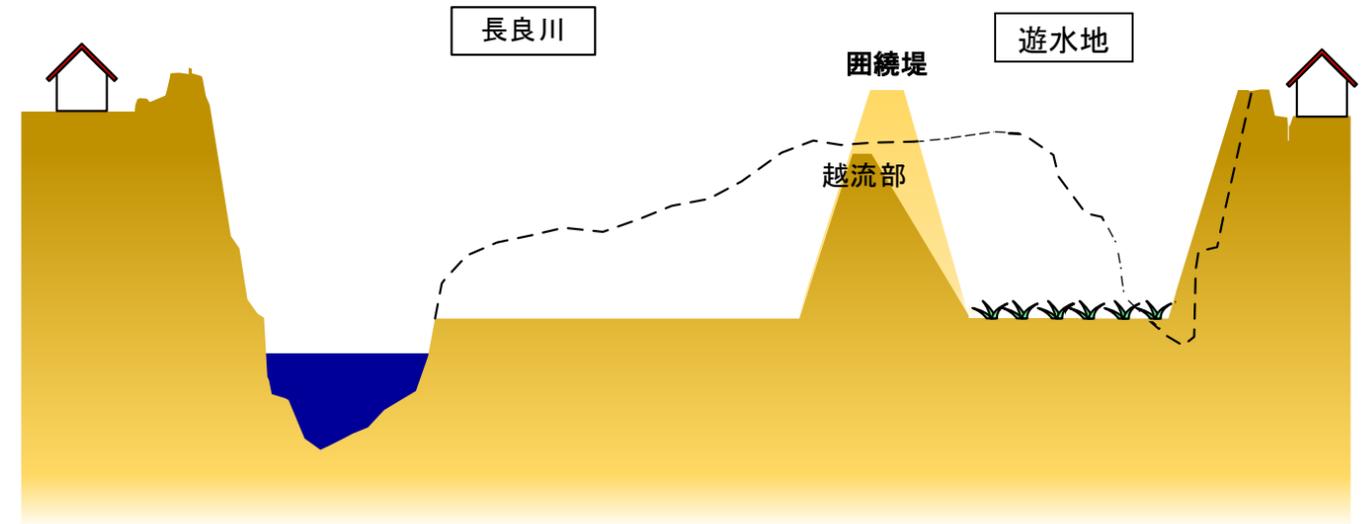
洪水時のイメージ

長良川平常時

現況河道



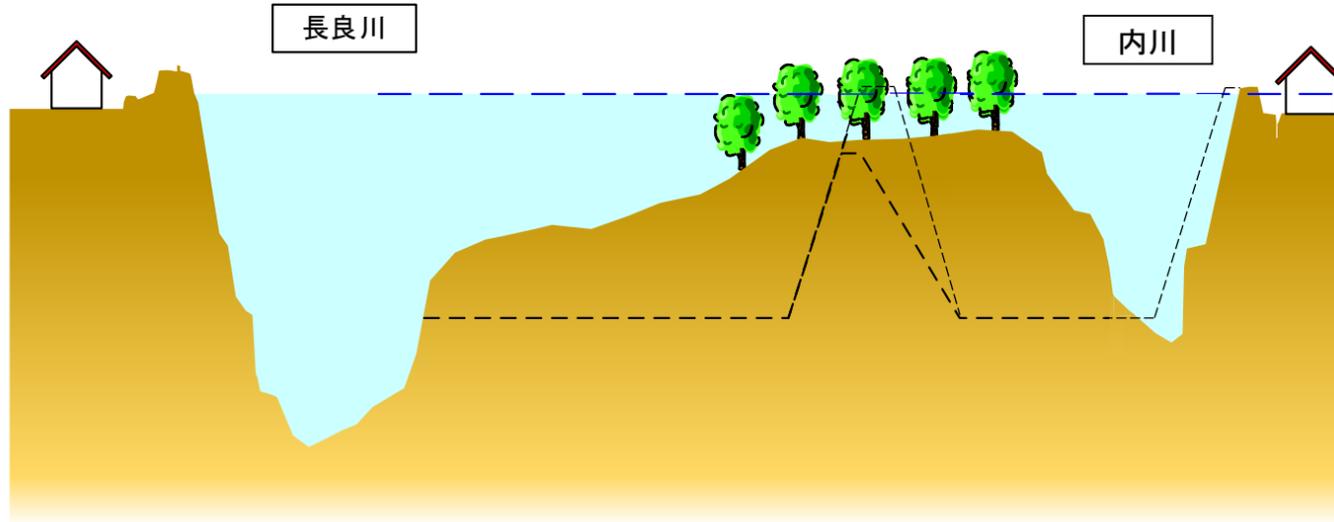
遊水地整備後



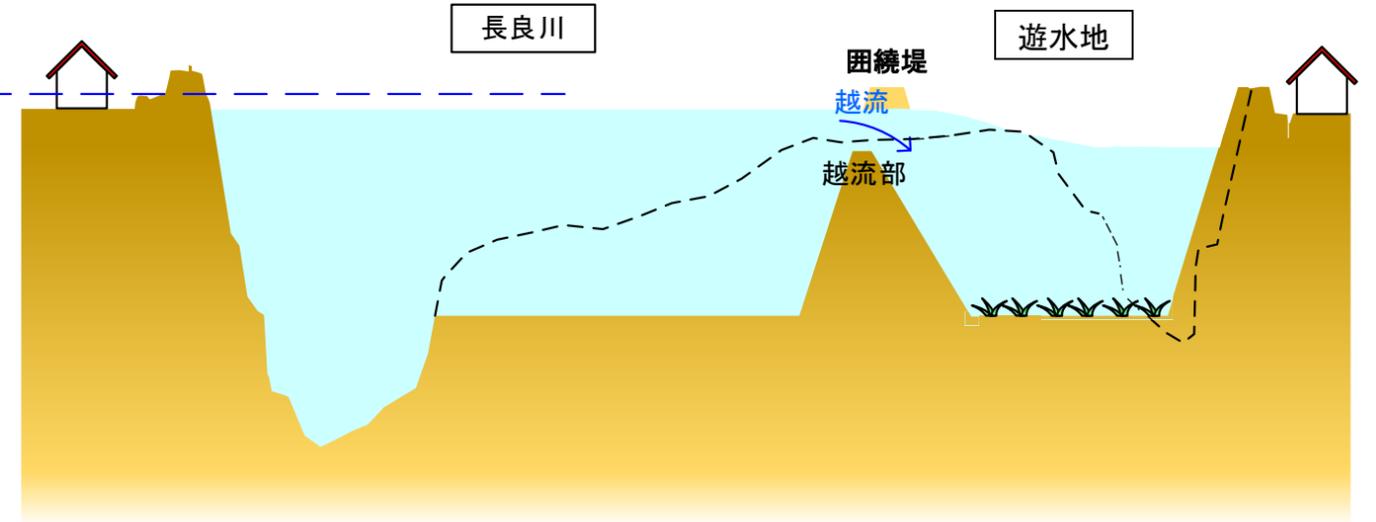
※令和2年度10月時点での検討状況を示すもので、今後変更の可能性があります。

長良川の流量が7,000m³/s相当(既往最大H16相当洪水、中州は完全に水没)

現況河道



遊水地整備後



※令和2年度10月時点での検討状況を示すもので、今後変更の可能性があります。

整備計画策定過程でいただいた ご意見について

長良川遊水地について

【主な意見】

- ①河道内に構造物を作ることによって障害物になるのではないか。
- ②流れを一本化することで左岸堤への負荷が増大するのではないか。
- ③支川(余取川)へのバックウォーターが増加するのではないか。
- ④地下水等により、調節容量が圧迫されるのではないか。
- ⑤右岸側の内水処理はできるのか。
- ⑥周囲堤の下部に位置する既設用水路をどのように切り回すのか。



横越地区遊水地と余取川位置イメージ

【意見に対する考え方】

遊水地整備に伴う中州部の河道掘削等により、従来の河道より流れをスムーズにすることで、遊水地前面において一定の水位低下効果を見込んでいます。

なお、堤防等の詳細な構造については地質調査結果等の結果を踏まえ、適切な構造となるよう検討し、「表-3.1.9 遊水地の概要」に記載の通り、遊水地の整備に取り組んで参ります。

なお、整備にあたっては、動植物の生息・生育・繁殖環境等の環境への影響の低減に努め、地域住民の意向を踏まえつつ、岐阜県をはじめとする関係機関と十分な調整・連携を図り、既往の洪水に対する当該地域の浸水被害軽減や平常時の土地利用のあり方に配慮します。

また、今後の検討の進捗に応じて、説明会等を実施し、地域の方々の意見を伺いながら進めて参ります。

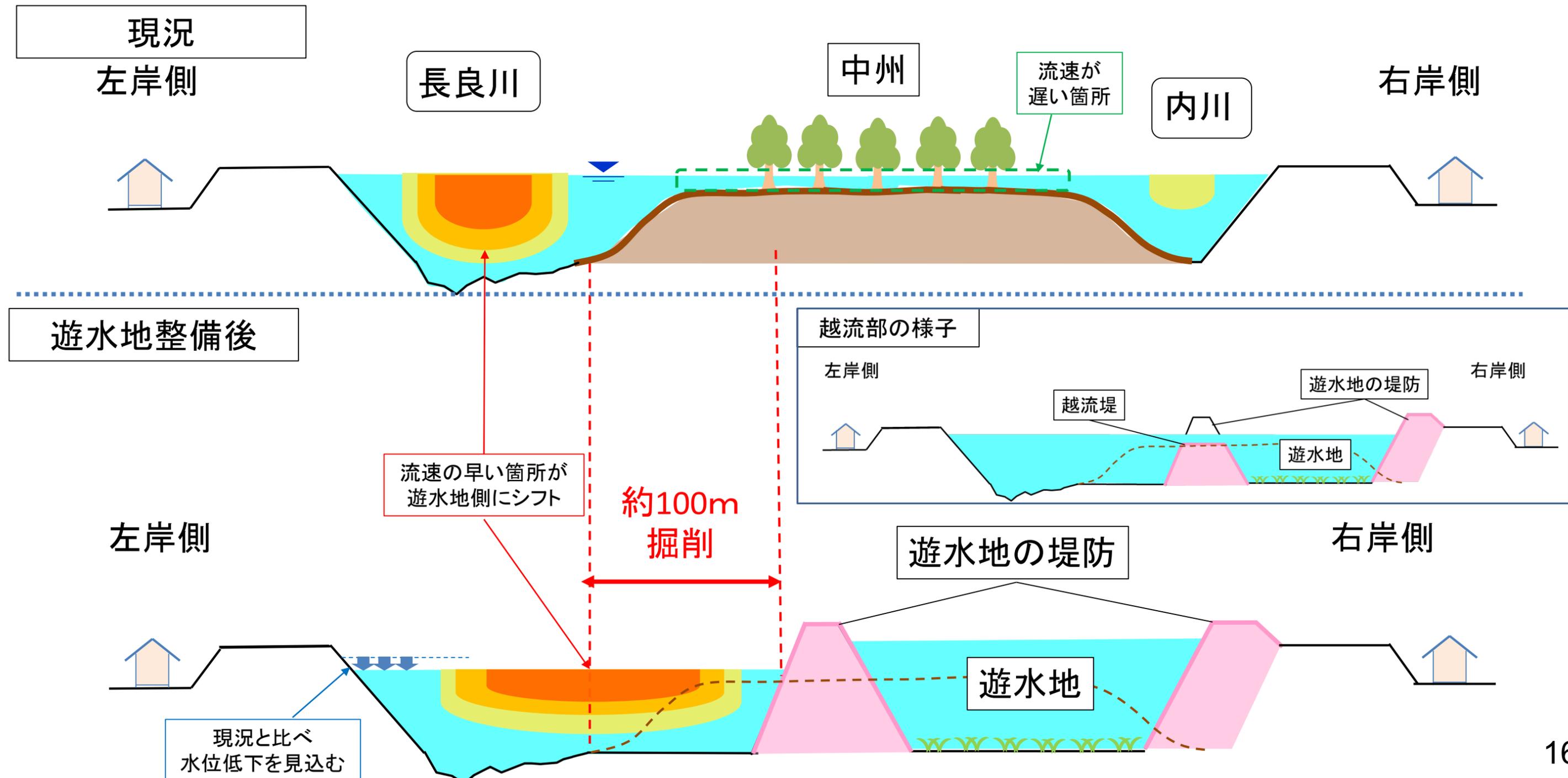
現段階の検討における横越地区遊水地の設計についての考え方

※令和元年度第5回流域委員会資料より
(文字サイズの修正、注釈の追記有り)

※現段階とは令和元年度第5回流域委員会時点を示します。なお、令和2年度10月時点においても考え方に変更はございません。

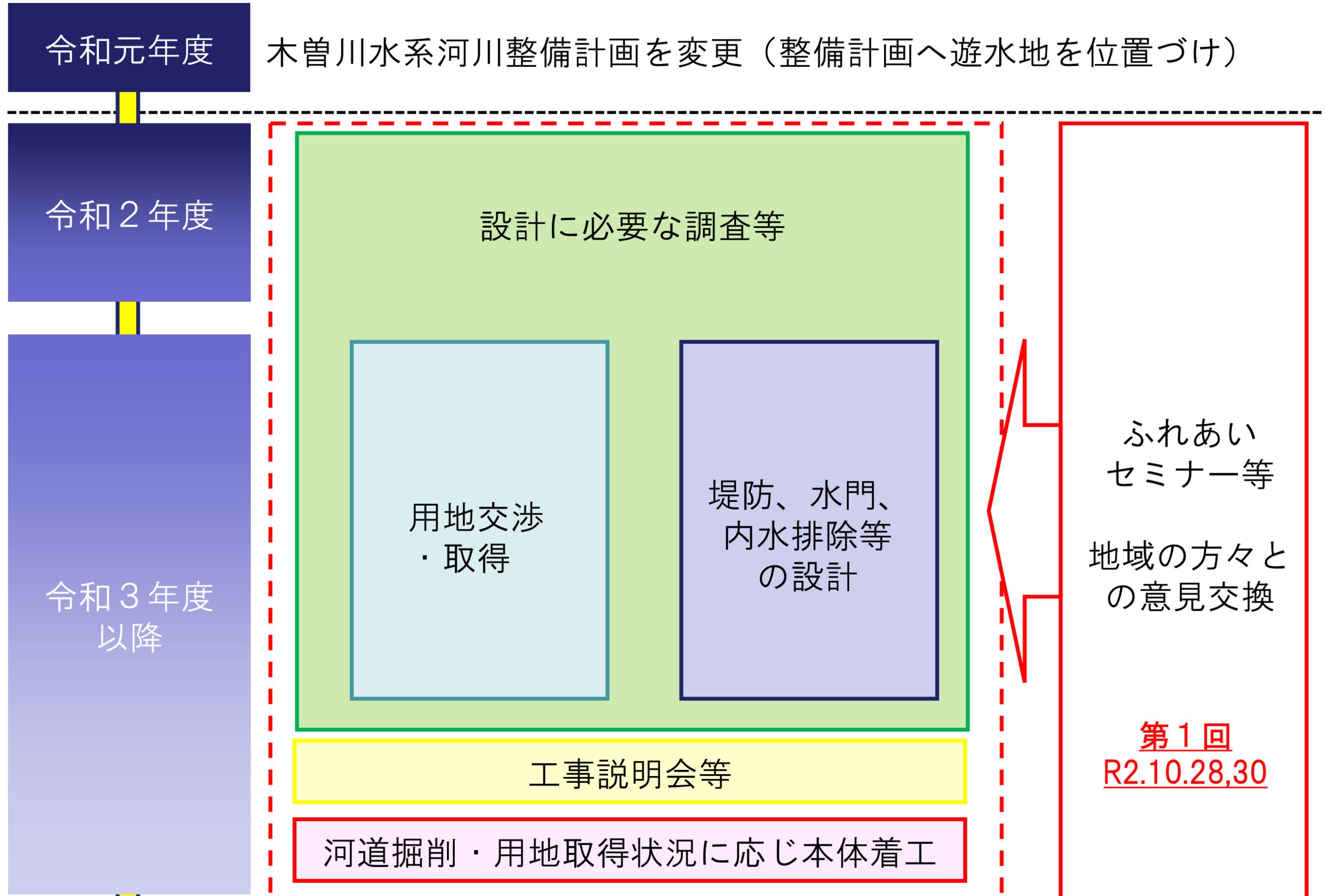
遊水地での貯留や、中州部の掘削によって流れをスムーズにすることにより、全体的な傾向として、現況と比較し遊水地前面において、一定の水位低下効果や流心が遊水地側に寄ることによる左岸付近における流速低減効果を見込んでおり、地域の浸水被害軽減に寄与するものと考えています。
今後、詳細な調査を進めていく中で、想定する外力に対して十分な構造となるように検討してまいります。

計画規模相当の洪水が発生した場合のイメージ図(越流堤より下流部)



長良川遊水地 今後の進め方について

美濃市における長良川遊水地事業の今後の予定



※令和2年度10月時点での検討状況を示すもので、今後変更の可能性がります。